

Model Course 5

# 山中溪から雄ノ山峠越え (熊野古道)

【葛城第四経塚(さくら地蔵)】

## 熊野古道紀伊路をたどり 修験の史跡と信仰の道を楽しむ

葛城第四経塚のさくら地蔵は、信仰の道、熊野古道紀伊路から少し外れたところにある。実際の修験の道は雲山峰から滝畑集落に下り、境谷を抜けて根來寺に向かったようだが、厳しい道となるので、ここでは雄ノ山峠を越える古道をたどるコースとする。

さくら地蔵へは、山中溪駅を出て南へ向かうが、ここではいったん北へ。山中宿を散策し、古道風情を楽しもう。集落内には本陣跡や熊野九十九王子のひとつ、馬目王子社がある。駅に戻り主要道を南へたどっていく。葛城第四経塚のさくら地蔵へは左に分岐する道に入るが、道標があるので迷わないだろう。さくら地蔵は、山の斜面を少し登ったところにある。その先に境谷集落があるので、興味があれば立ち寄ってもいい。

主要道に戻りさらに南へ。日本最後の仇討の碑が立つところが境橋で、葛城修験の行場であり、修験者はここで身を清めたと説明板に書かれている。さらに進んで熊野古道の道標にしたがい踏切を渡って、碑伝の置かれた中山王子跡から滝畑集落に入る。集落の奥に進んでいくと、春日神社があり、行場の音無の滝が落ちている。再び主要道に戻り、雄ノ山峠を目指してゆるやかに登る。この先、葛城修験に関する史跡はないが、塞ノ神、続いて雄ノ山峠を越えたところに、峠の不動尊があり、碑伝も置かれている。和歌山の街を見下ろし下っていき、JR線をくぐると、やがて山口王子跡がある。

加太淡嶋神社を示す古い石標がある墓地の角で右に折れ、山口神社鳥居前で左に折れて、県道7号に出て右へ。そのまま進むと紀伊駅に着くが、せっかくなので、地蔵堂の前で南に入る路地に入って、川辺王子跡に立ち寄ってこよう。

歩行距離 ◆ 約13km

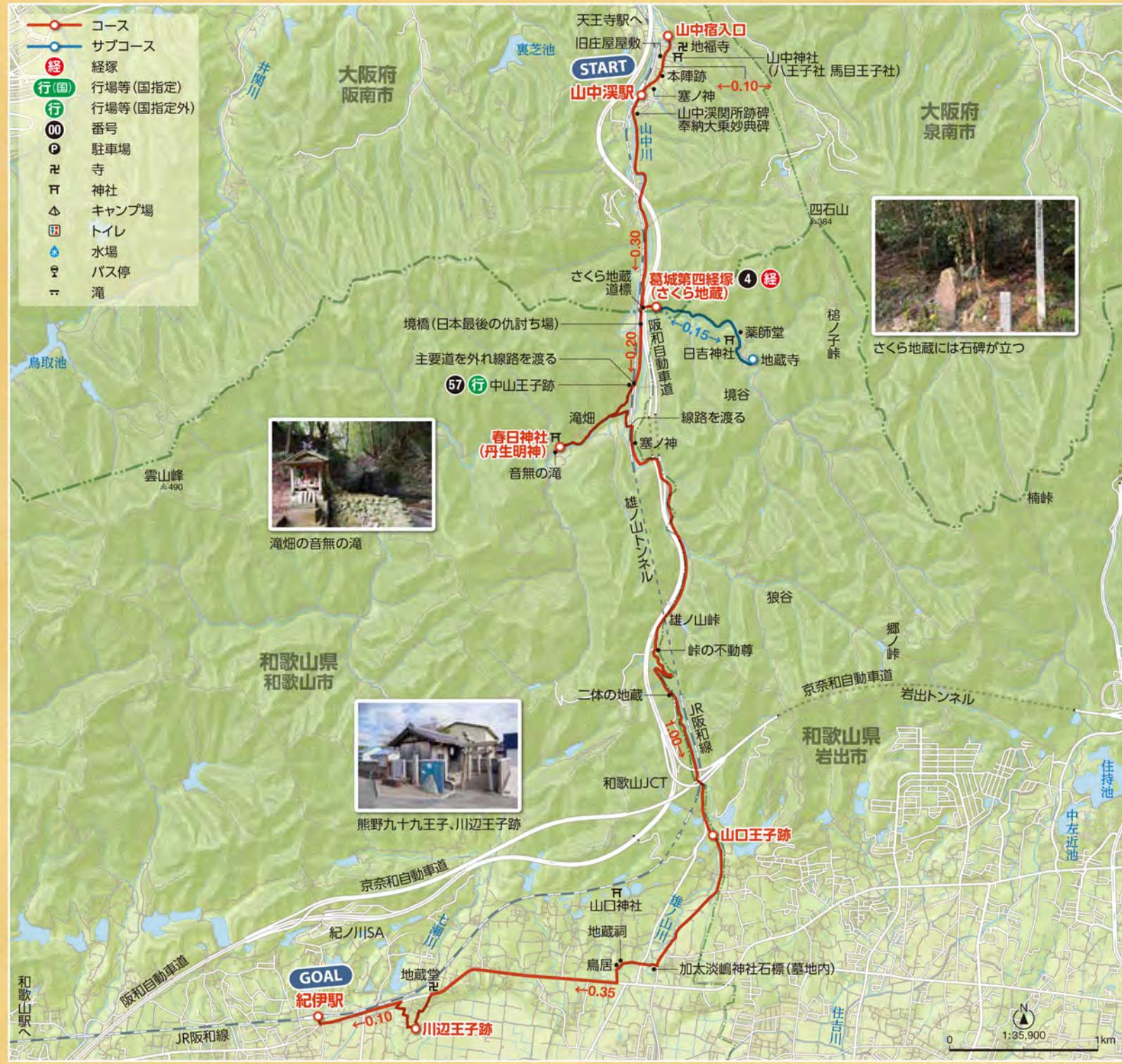
体力レベル ★★

歩行時間 ◆ 2時間55分

登山レベル ★★



※歩行距離は水平距離、コースタイムは一般的なペースで歩いた場合の休憩時間を含まない参考タイムです。



※実際の修行の道とは異なります。

## コース情報



旧街道の風情を残す山中宿。道には石畳が敷かれている



滝畑ののどかな風景を歩き春日神社(丹生明神)へ



滝畑集落入口に多くの碑伝が置かれる中山王子跡がある



雄ノ山峠を越え和歌山市内へ。歩道がなく車に注意

## アクセス

往路

JR阪和線山中溪駅

復路

JR阪和線紀伊駅

## アドバイス

本コースは終始舗装路歩きなので、スニーカーが向いている。雄ノ山峠越えの主要道は歩道がないので車の往来に注意すること。また、特に峠を示すものはない。和歌山側の市街に下りると道はやや複雑になるが、川辺王子跡までは、熊野古道の道標が随所にあるので、迷わないだろう。